

「医療計画の見直し等に関する検討会」ワーキンググループ 報告書目次（案）

I 現行の医療計画について

- 1 医療計画の背景と目的
 - 1) 医療法の歴史と医療計画制度の変遷
 - 2) 医療計画の目的
- 2 医療計画の評価
 - 1) 国際的な比較による評価
 - 2) 計画のインパクトに関する評価
 - 3) 計画の策定と執行に関する評価
 - 4) 総括
- 3 医療計画を取り巻く環境の変化
 - 1) 国際的な動向
 - 2) 規制緩和の流れと医療計画
 - 3) 保健医療体制と医療計画

II 今後の医療計画について

- 1 患者の望む医療像
- 2 医療計画が担うべき機能と役割
 - 1) 医療提供体制における行政の役割
 - 2) 医療計画が担うべき機能と役割
- 3 今後の医療計画のあり方について
 - 1) 目的
 - 2) 基準病床等
 - ① 今後のあり方について
 - 3) 記載事項
 - 4) 計画の策定と運営
 - ① 情報収集と計画の立て方
 - ② 住民参加の方策
 - ③ 目標値の設定
 - ④ 推進方策（インセンティブや予算等）
 - ⑤ 執行管理（情報システム等）
 - 5) 医療計画の評価方法等
 - ① 諸外国における評価方法等
 - ② 医療計画の評価（評価指標・評価手順）

4 当面取り組むべき課題

1) 基準病床数の算定式

2) 病床の特例

3) 既存病床数の補正

4) 記載事項

① 公的医療機関等の位置づけ及び公私の役割分担の明確化

② 政策的に推進すべき医療や機能との関連

・臨床研修指定病院の確保

・医療安全支援センターの位置づけ

・小児医療の推進

・周産期医療の推進

・地域がん診療拠点病院の位置づけ

・メディカルコントロール体制

・小児救急医療体制

・在宅医療の推進

5) 医療計画の評価の導入

6) 医療機能調査の活用

7) その他